

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》薄井 明

【概要】

「社会学」などで学習した知識を再活性化すると同時に、必ずしも十分でなかった分野の知識を補充して、実践的な思考力を高める。

【学習目標】

社会福祉士・精神保健福祉士・高校教員（公民）の職能を発揮するために必要な、「現代家族」および「現代社会」に関する知識を身につけ、あわせて問題解決につながる実践的な思考力を養成する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	現代社会と社会システム	日本の産業と職業、階級と階層、職業と階層移動、中流意識と社会的不平等、社会システム	薄井
2	経済・法と社会システム	交換の概念、労働の概念、労働市場、完全失業者と完全失業者率、非正規就業者、法と社会規範	薄井
3	社会変動と現代社会	近代化、ゲマインシャフト/ゲゼルシャフト、機械的連帯/有機的連帯、大衆社会、産業社会とポスト産業社会、情報社会、「文化遅滞」論、アノミー	薄井
4	人口動態	人口高齢化の指標、人口構成図の変化、少子化と合計特殊出生率、日本の総人口	薄井
5	地域社会	都市化、都市化に伴う諸現象、シカゴ学派、「同心円地帯」理論、アーバニズム、日本の都市・農村社会学、戦後の農業政策、過疎、町内会	薄井
6	社会集団と組織	コミュニティ/アソシエーション、準拠集団と相対的剥奪、第一次集団、フォーマル組織/インフォーマル・グループ	薄井
7	家族と世帯	家族/世帯、高齢者世帯、夫婦家族/直系家族、平均世帯人員と世帯数、構造別世帯数の構成割合	薄井
8	家族の変化と生活の捉え方(1)	婚姻率の推移、晩婚化・非婚化の進行、離婚率の推移、同居期間別の離婚、手続き等からみた離婚	薄井
9	家族の変化と生活の捉え方(2)	家族のライフサイクル、ライフコース、家族機能の外部化・縮小化、家事分担、生活時間	薄井
10	社会関係と社会的孤立	ウェーバーの社会的行為の4類型、社会関係、社会的孤立、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)	薄井
11	社会的役割	地位と役割、役割期待、役割取得、役割葛藤、役割距離	薄井
12	社会問題の捉え方(1)	社会問題の捉え方、差別における属性主義と業績主義、アーママティブ・アクション	薄井
13	社会問題の捉え方(2)	ラベリング理論、アノミーと逸脱行動、犯罪社会学理論(分化的接触理論・ボンド理論など)	薄井
14	具体的な社会問題とその対策(1)	スティグマ、エイジズム、セクシズム、ジェンダー・トラック、世界女性会議、男女雇用機会均等法	薄井
15	具体的な社会問題とその対策(2)	ジェンダー・エンパワーメント指数、ドメスティック・バイオレンス、いじめ、日本の自殺、環境問題	薄井

【評価方法】

課題と小テスト(100%)

【備考】

教科書 : 薄井明, 『必修事項と範例問題』, (株)みらい

参考書 : 適宜紹介する。

**【学習の準備】**

テキストに沿って授業を進めていくので、指示された次回の講義箇所を事前に読んでおき、演習問題を自分で解いてみて、自分の理解の弱点を把握しておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,3,5